

石川県内経済情勢

令和7年1月
財務省北陸財務局

県内経済は、緩やかに持ち直している。

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな持ち直しが続くことが期待される。ただし、海外景気の下振れや物価上昇、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

(注) 7年1月判断は、前回6年10月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

個人消費：緩やかに回復しつつある。

百貨店・スーパー販売

飲食料品や高額品に動きがみられることから、緩やかに回復しつつある。

コンビニエンスストア販売

米飯類等に動きがみられることから、堅調となっている。

ドラッグストア販売

飲食料品等に動きがみられるほか、新規出店効果もあり、拡大している。

ホームセンター販売

被災家屋の復旧需要により DIY 用品に動きがみられることなどから、好調となっている。

家電大型専門店販売

エアコンや携帯電話に動きがみられることから、持ち直しの動きがみられる。

新車販売台数

持ち直しに向けた動きに一服感がみられる。

主要観光地の来訪客数

前年を下回っているものの、能登地域では徐々に回復している。

主要温泉地の宿泊客数

前年を下回っており、能登地域では多くの旅館で休業が続いているものの、能登地域以外では、北陸新幹線の敦賀延伸等の効果もあって、前年を上回っている。

設備投資：6年度は増加見込みとなっている。（法人企業景気予測調査（6年10-12月期調査））

製造業は増加見込み、非製造業は減少見込みとなっている。

住宅建設：緩やかに持ち直しつつある。

新設住宅着工戸数でみると、緩やかに持ち直しつつある。

公共事業：前年を上回っている。

前払金保証請負金額

前年を上回っている。

生産活動：緩やかに持ち直しつつある。

汎用・生産用・業務用機械

金属加工機械が弱い動きとなっているものの、繊維機械が緩やかに持ち直しつつあることなどから、全体では下げ止まっている。

電気機械

スマートフォン向けや自動車向けで持ち直しに向けた動きに一服感がみられるほか、家電向けが弱まっていることなどから、全体では弱含んでいる。

化学

大宗を占める医薬品で、緩やかに回復している。

繊維

衣料向けが弱含んでいるものの、非衣料向けが持ち直しつつあることから、全体では緩やかに持ち直しつつある。

企業収益：6年度は増益見込みとなっている。（法人企業景気予測調査（6年10-12月期調査））

製造業、非製造業ともに増益見込みとなっている。規模別では、大企業、中堅企業、中小企業ともに増益見込みとなっている。

企業の景況感：全産業では「上昇」超となっている。（法人企業景気予測調査（6年10-12月期調査））

現状判断（6年10-12月期）は、製造業が「下降」超となっているものの、非製造業が「上昇」超となっていることから、全産業では「上昇」超となっている。

なお、先行きは、全産業では7年1-3月期、7年4-6月期ともに「下降」超となる見通しとなっている。

雇用情勢：緩やかに持ち直している。

有効求人倍率（季節調整値）

上昇している。

新規求人数

前年を上回っている。

新規求職者数

前年を下回っている。

雇用保険受給者実人員

前年を上回っている。

金融機関の貸出金：前年を上回っている。

企業倒産：前年を上回っている。

件数、負債総額ともに前年を上回っている。

消費者物価（金沢市、生鮮食品を除く総合）：前年を上回っている。

お問合せ先 財務省 北陸財務局 経済調査課 TEL (076) 292-7858
--